

有機農業コース

目 標

- ◎慣行の野菜栽培技術を身につけるとともに有機栽培も学習し、広い見地から農業を理解することができる生徒を育成する。
- (1) 野菜や草花の栽培を通して、園芸に関する知識と技術を習得する。
 - (2) 有機栽培技術を通して循環型農業の体系を理解する。
 - (3) 生産から加工、流通を系統的に学ぶことにより農業の果たす役割を理解する。
 - (4) クリーン農業実践による作物の安全性を学習する。
 - (5) 流通・販売を体験的に学ぶことにより社会に求められる態度や能力を身につける。

科 目	1年	2年	3年	4年	計	
共通科目	農業と環境	3				3
	総合実習	3	2	3	8	16
	課題研究		1	2		3
	有機農業		3			3
	食品流通	1	1	2		4
	農業と情報	2	2			4
コース別科目	有機農業			2		2
	地域資源活用		2			2
	野菜		2	2		4
	草花			2		2
	菓子製造			2		2
合計	9	13	15	8	37~45	

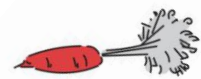
※「4年」は希望者のみ

☆ガスアーク溶接資格

3年次の5月第3週に本別町で宿泊しながら取得します。(村から半額助成をうけて約1万円)

☆小型車両系建設機械資格

隔年の夏季休業中に希望者のみ2日間で取得します。(約1万2千円)



共通学習の特徴

- (1) 農業および環境に興味・関心を持たせ基礎的な知識と技術を習得する。(農業と環境)
- (2) 地域性を重視した野菜栽培の学習を中核的に実施する。(有機農業)
- (3) 職業学科としてのコスト管理やマーケティング等経営概念の基礎を習得する。(食品流通)
- (4) 情報技術を学ぶことによりデータ処理や情報発信の能力を養う。(農業と情報)

コース別専門教科の学習内容

- 有機農業：有機JAS認定を中心とした有機栽培の基礎を体験的に学ぶ。
- 地域資源活用：交流、余暇活動の展開に必要な知識と技術を学ぶ。
- 野菜：トマト・ナス・ニンジン・サツマイモなど野菜の生産と経営に関する知識と技術を学ぶ。
- 草花：花壇用草花や多肉植物などを中心に学習を行い、草花を育てる楽しさを学ぶ。
- 菓子製造：農産物、牛乳を原料として製菓製パン類に加工する知識と技術を学ぶ。

◇ 学 習 が 役 立 つ 卒 業 後 の 進 路 ◇

農業後継者、農業関係の大学、専門学校、農業関連機関（各JA、ホクレン関係事業所等）、一般企業（農業法人、農業関連産業、食品製造、市場、食品販売、機械、サービス業等）